

Eastman Tritan™コポリエステル — 確かな科学に裏付けられた安全性

Eastman Tritan™コポリエステルは、安全で環境に優しいプラスチック材料として、多くのお客様からゆるぎない支持を頂いています。独立の第三者機関による総合的な試験によって、Tritanには、エストロゲン活性(EA)もアンドロゲン活性(AA)もないことが実証されています。

2011年、プラスチピュア(PlastiPure, Inc.)社と関連会社のサーティケム(CertiChem, Inc.)社の2社が、Eastman Tritan™コポリエステルに関し、予備的なスクリーニング試験（ヒト乳ガン由来細胞MCF-7試験）を1回だけ行い、その結果に基づいて、虚偽の発言および誤解を招く表現を行ないました。ヒト乳ガン由来細胞MCF-7試験は、より決定的な試験を行う前の、最初のスクリーニング試験として広く認識されているものです。このMCF-7試験では“偽陽性”が頻繁に生じるため、ポリマーのエストロゲン活性やアンドロゲン活性の有無について最終的な結論を下す前には、より信頼性の高いEA試験によって検証することになっています。

実際のところ、MCF-7試験は、米国環境保護庁(Environmental Protection Agency (EPA))および米国国家毒性プログラム(National Toxicology Program)の代替法検証に関する省庁間連絡委員会(Interagency Coordinating Committee on the Validation of Alternative Methods)により、EPAの内分泌かく乱化学物質スクリーニング計画においてエストロゲン活性(EA)のある物質の特定に使用する試験方法として、認められていません。

それに対し、Eastman Tritan™コポリエステルの内分泌かく乱の可能性を評価するために用いたインビボ試験は、いずれも、科学界においてゴールドスタンダードと見なされている代表的な試験です（詳しくは[安全性試験](#)をご覧ください）。さらに、それらの試験はいずれも、米国環境

保護庁が推進する内分泌かく乱化学物質スクリーニング計画の第一段階試験として認められています。

全てのプラスチックがエストロゲン活性を示すとする発言がありますが、[安全性試験](#)ページに示す科学的知識や試験結果から明らかなように、Tritanに関しては、この発言は当てはまりません。より詳しくは、[ホワイトペーパー](#)をダウンロードしてご覧ください。

イーストマン訴訟

イーストマンは、サーティケム社とその関連会社のプラスチピュア社との間に利害の対立があると考えています。プラスチピュア社は、EAフリーとして認定を受けたプラスチック製品を製造・販売する唯一の企業であると主張しています。虚偽や誤解を招く表現からEastman Tritan™ コポリエステル製品とその事業を守るため、イーストマンは、2012年1月、上記2社に対して訴訟を提起しました。また、Tritanの安全性を裏付けるため、信頼のおける複数の独立の第三者試験機関に依頼し、何種類かの広く認められた科学的方法を用いて、Tritanのエストロゲン活性(EA)およびアンドロゲン活性(AA)の有無を試験しました。これらの相互補完的な第三者試験の結果は、TritanがEAフリー・プラスチックであることを裏付けています。

Eastman Tritan™ コポリエステルに使用されているモノマーに関して現在までに行われた全ての研究・試験の要約および分析結果については、論文審査のある学術専門誌『フード・アンド・ケミカル・トキシコロジー(*Food and Chemical Toxicology*)』に査読済みの論文が発表されています。試験内容および試験結果の概要は、本研究に関するホワイトペーパーとしても取りまとめられており、[ダウンロード](#)してご覧になることができます。

イーストマンは、これまで何年にもわたり、エストロゲン活性(EA)やアンドロゲン活性(AA)に関する事実を含め、Tritanの安全性について、一貫した主張を行ってきました。2010年5月13日付けの[プレスリリース](#)では、TritanにビスフェノールA (BPA)が含まれていないことに加え、

Tritanにエストロゲン活性がないことを実証した試験結果を公表しています。また、2010年9月に作成された[製品安全性パンフレット](#)には、EAおよびAAに関する試験結果を掲載しています。

また、イーストマンが実施したこれらの試験に関し、プラスチック材料を一般的な使用条件におけるストレス因子に暴露したのかどうか、あるいは、食品・飲料包装材の化学的危険性の有無を適切に評価する上で十分な感度を備えた試験だったのかどうかについて、イーストマンが明らかにしていないと言った指摘がなされていますが、これらの指摘も、正しくありません。Eastman Tritan™コポリエステルの試験は、米国食品医薬品局（FDA）ならびにEU（欧州委員会規則[EU] N. 10/2011）の食品接触材料の溶出試験に関する勧告に従って実施されているからです。イーストマンでは、第三者試験のデータをパンフレット3冊と[ホワイトペーパー](#)1冊にまとめ、公表しています。

これらのデータは、アメリカ化学会(American Chemical Society meeting)の2011年学会、および、米国毒性学会(Society of Toxicology)の2012年学会においても発表されています。

詳しくは、メディアルームの[ファクトシート](#)のページ、または、[安全性試験](#)のページをご覧ください。安全性試験に関する[ホワイトペーパー](#)をダウンロードして、ご覧になることもできます。[ホワイトペーパー](#)には、エストロゲン活性やアンドロゲン活性の有無を検査して、Eastman Tritan™コポリエステルの安全性を評価するために、独立の第三者試験機関が実施した一連の試験結果が掲載されています。Tritanの安全性について、より詳しい情報をお求めの場合は、888-321-6768(米国)までお電話ください。

イーストマン訴訟について、さらにご質問がある場合は、[電子メール](#)にてご遠慮なくお問い合わせください。

報道関係者の方へ：より詳しい情報をお求めの場合は、[Tritanメディアルーム](#)をご覧ください。